

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10583003				
授業名	政治社会と行政問題 C	形態	講義	単位	2
担当教員	田邊 亮				
開講学期	2025年度 後学期	曜日・時限	月曜4限		
授業目的	現代の政治社会におけるさまざまな問題（総理大臣の選び方、官僚と天下り、選挙のしくみ、多数決による決定の問題、行為や制度の正しさの考え方など）に関して、できるだけ身近な例を取り上げて、その背景・原因・解決策を一緒に考えていくとともに、政治の世界を少しでも身近に捉え、自分自身の見解を思考できるようにする。				
授業内容	<p>本授業の内容は、大きく3つのテーマから構成される。</p> <p>第1のテーマは、政治社会にかかわる主体についてである。政治の世界を「本人と代理人の関係」と整理した上で、「内閣総理大臣、国会議員、官僚、利益集団とは、どのような人たち・集団なのか？どのような仕事をしているか？」などについて学修する。</p> <p>第2のテーマは、政治社会に存在する固有の問題である。「多数決による決定に問題はないのか？」、「民主主義社会においては、多数派の利益ではなく、集団に所属する少数の人々の利益の方が実現されやすいのか？」などについて学修する。</p> <p>第3のテーマは、正義（行為や制度の正しさ）をめぐる問題である。「一部の人を犠牲にして社会全体の利益を促進することは許されるか？」、「自殺や売春を強制的に止めさせることは正しいか？」、「貧困問題を解決するために、お金持ちに高い税率で税金を収めさせることは正しいか？」といった様々な道徳的なジレンマに対して考える。</p> <p>なお、本授業では、国政選挙や地方選挙、人権や死刑に関する最新の事例を確認するため、情報通信技術（ICT）を活用する。</p>				
到達目標	政治・政治学に関する基礎知識を修得することに加えて、問いに対する自分の主張を考え、論拠を有した形で記述できるようになることが目標である。				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-（5）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式で授業を実施するが、一部、アクティブラーニングの手法を活用する。具体的には、「行為や制度の正しさの考え方」のテーマにおいて、グループワークと発表の機会を設ける。また、受講者のレポートにおける記述内容の報告、および、担当教員による解説を行い、受講生全員で共有することで、双方向型授業(アクティブラーニング)とする。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート課題</li> <li>・随時試験（第15回の授業内に実施）</li> <li>・その他（リアクションペーパー、小レポートなど）</li> </ul> によって評価する。				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート課題：40点</li> <li>・随時試験：40点</li> <li>・その他（リアクションペーパー、小レポートなど）：20点</li> </ul> 計100点満点とする。				
試験・レポート等のフィードバック	授業回で提出されたリアクションペーパー、レポートについては、原則、次回の授業時に返却し、解説を行う。				
注意事項及び履修条件	事前学習と事後学習をしっかりと行うこと。 テレビ・新聞・インターネットを通じて、政治に関わるニュースを見聞きしておくこと。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	シラバスを読み、授業内容、成績評価の方法などを確認する。				

授業内容	授業のガイダンス ①授業目標と授業内容の確認 ②成績評価の方法の確認 ③受講に当たっての注意事項の伝達
事後学習	授業内で提示された用語の中で、意味や内容がわからなかったものをテキストやWebで調べて理解しておく。
参考文献	

第2回	
事前学習	「政治」という言葉から思い当たる事柄をまとめておく。「政治」という言葉の意味をテキストやWebで調べて確認しておく。
授業内容	(1)「政治」とはいかなる意味か、政治の定義について学修する。 (2)「政治学」とはいかなる学問分野かについて学修する。
事後学習	政治とはいかなる意味か、政治学とはいかなる学問分野かについて、説明できるようにまとめておく。また、政治に関するいくつかの事象を取り上げて、政治の定義を用いて説明できるようにする。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ

第3回	
事前学習	日本の総理大臣の選出方法をテキストやWebで調べてまとめておく。
授業内容	日本の内閣総理大臣という政治的リーダーを選出する方法について説明し、「日本の内閣総理大臣は、なぜ短命な場合が多いのか？」について、大統領制と議院内閣制という制度の特徴などから考察する。
事後学習	日本の総理大臣の選出方法を自分の言葉で説明できるようにしておく。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ

第4回	
事前学習	アメリカの大統領の選出方法をテキストやWebで調べてまとめておく。
授業内容	アメリカの大統領という政治的リーダーを選出する方法、および、アメリカの大統領制の特徴について学修する。
事後学習	「日本の内閣総理大臣は、なぜ、短命な場合が多いのか？」について、大統領制と議院内閣制という制度の特徴より、自分の言葉で説明できるようにしておく。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ

第5回	
事前学習	日本の衆議院議員と参議院議員を選出する選挙制度について調べておく。小選挙区制と比例代表制という選挙制度の特徴、長所と短所を調べておく。
授業内容	小選挙区制と比例代表制という2つの代表的な選挙制度の特徴を確認した後、日本の国政選挙で採用されている選挙制度について概説する。また、「なぜ、政党は、芸能人や元スポーツ選手などのタレント議員を候補者に立てるのか」についても考察していく。
事後学習	小選挙区制と比例代表制という選挙制度の特徴、長所と短所をそれぞれ表にまとめて整理、理解しておく。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ

第6回	
事前学習	集団（家族、クラス、サークルや部活など）における決定の方法には、どのような方法があるかを考えてまとめておく。
授業内容	多数決による決定は、民主主義の象徴と捉えられるが、はたして多数決による決定に問題はないので

	あろうか。多数決をめぐる問題として、累積多数決、定数不均衡、投票率の問題といった決定の問題について学修する。また、多数決による決定は正しいと言えるかについても学修する。
事後学習	多数決をめぐる問題が発生する原因をもう一度まとめ直し、身近な事例における決定の問題を自分の言葉で説明できるようにしておく。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ

第7回	
事前学習	「なぜ、若者は選挙（投票）に行かないのか？」について考えてくる。
授業内容	「なぜ、若者は選挙（投票）に行かないのか」、「なぜ、政党や候補者は、若者に利益をもたらすような政策を掲げないのか」という問いについて、投票行動の期待効用モデル、中位政策定理を用いて説明する。
事後学習	若者の投票率を上げるための施策について、投票行動の期待効用モデルをもう一度確認し、整理する。
参考文献	川人貞史、他『現代の政党と選挙』有斐閣アルマ

第8回	
事前学習	「ある行為が正しいか否かを判断する基準とは？」について考えてくる。
授業内容	行為・制度の正しさの考え方1 I・カントを代表的な論者とする道徳主義の思想、定言命法について説明する。
事後学習	道徳主義とはどのような思想かについて、定言命法といったキーワードをもう一度確認し、整理する。
参考文献	小川仁志『はじめての政治哲学：「正しさ」をめぐる23の問い』講談社現代新書

第9回	
事前学習	「いじめが1人の生徒に対して行われていることにより、他の生徒たちが仲良く生活できるクラスがあったとする。この場合、いじめの存在は許されるか？」について考えてくる。
授業内容	行為・制度の正しさの考え方2 J・ベンサムを代表的な論者とし、「政治の目的は最大多数の最大幸福の実現にある」と唱える功利主義という思想を説明する。
事後学習	功利主義とはどのような思想かについて、功利の原理、最大多数の最大幸福といったキーワードをもう一度確認し、整理する。
参考文献	小川仁志『はじめての政治哲学：「正しさ」をめぐる23の問い』講談社現代新書

第10回	
事前学習	「人間には自殺をする権利があると言えるか？ また、他の人間は、自殺を無理やり止めさせる権利があるか？」について考えてくる。
授業内容	行為・制度の正しさの考え方3 R・ノージックを代表的な論者とし、個人の自由を特に重視するリバタリアニズム（自由至上主義）という思想を説明する。
事後学習	リバタリアニズムとはどのような思想かについて、自己所有権といったキーワードをもう一度確認し、整理する。
参考文献	小川仁志『はじめての政治哲学：「正しさ」をめぐる23の問い』講談社現代新書

第11回	
事前学習	「死刑制度に対して、賛成か、反対か」。自分の見解をまとめてくる。
授業内容	行為・制度の正しさの考え方4 死刑制度の維持・廃止に関して、グループワークを実施する。
事後学習	死刑制度の維持・廃止に関して、功利主義とリバタリアニズムの考え方に基づき、自分の見解をまとめる。

参考文献	小川仁志『はじめての政治哲学：「正しさ」をめぐる23の問い』講談社現代新書
第12回	
事前学習	「官僚とは、どのような人たちか?」、「天下りとは、どのようなことか?」について、テキストやWebで調べてまとめておく。
授業内容	官僚とはどのような人たちか、官僚の仕事は何か、天下りは悪いことか、などについて概説し、政治社会においていかなる役割を担っているかを考察する。
事後学習	政治社会において、「官僚」が果たす役割の良い面と悪い面について、自分なりに説明ができるようにしておく。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ
第13回	
事前学習	「利益集団とは、いかなる集団か?」、「なぜ日本のお米は高いか?」について、テキストやWebで調べてまとめておく。
授業内容	利益集団という政治過程の代表的なアクターの特徴や活動を講義した後、日本のお米の値段が高い理由などを例として、少数の優位、集合行為問題の発生より説明する。
事後学習	フリーライダー、少数の優位といったキーワードをもう一度確認し、集合行為問題について整理する。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ
第14回	
事前学習	「福祉国家とは、どのような国家か?」について考えてくる。
授業内容	「福祉国家とは、どのような国家か?」について、夜警国家と福祉国家の2つの国家観、日本の社会保障制度、福祉国家の歴史を確認した後、福祉国家レジームの3つの類型をそれぞれ説明し、日本はいかなる類型に位置付けられるかを考察する。
事後学習	福祉レジームの3類型より、日本の福祉国家としてのあり方（社会保障制度）の特徴と問題点をまとめる。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ
第15回	
事前学習	これまでの授業で学んだことを復習する。国際政治と国内政治の違いについて考えてくる。
授業内容	随時試験を実施する。その後、試験のフィードバックを行う。 随時試験の後、国際政治の特徴について、主に国内政治との違いより説明する。 (授業内試験を受験しなかった場合は、未受験の理由を踏まえて、個別に対応する)
事後学習	アナーキー、自助の原則、安全保障のジレンマといったキーワードをもう一度確認し、国際政治と国内政治の違いについて整理する。
参考文献	佐藤史郎、他『はじめての政治学』法律文化社 加茂利男、他『現代政治学』有非閣アルマ
※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
ディプロマポリシー	<p>&lt;大DP-1&gt;【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】</p> <p>&lt;大DP1-(1)&gt; 日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。</p> <p>&lt;大DP1-(2)&gt; 情報リテラシーや数量的スキルを修得している。</p> <p>&lt;大DP1-(3)&gt; 課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。</p> <p>&lt;大DP1-(4)&gt; 自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。</p> <p>&lt;大DP1-(5)&gt; 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。</p> <p>&lt;大DP-2&gt;【専門教育分野における知識・技能・能力】</p> <p>&lt;大DP2-(1)&gt; 自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。</p>

<大DP2-（2）> 修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。